

やらで、おれたち大自然の中に逃げてくるやつがふえた。

それは別にかまわないのだが困るのは、人間が、そこらやたらにゴミを投げ捨てて行くことだ。いくら、おれの葉で隠したって、隠しきれものではない。

それに、空ビンやポリ何んとかいう袋は、いつまでたってもくさりはしないので、なお困る。

これも人間の云う公害というやつなのだろうか。だとしたらせつかく公害を逃れて、おれたち自然の中に入ってきながら、なんでもまた、おれたちにまで公害をふりまくのだから。

おれたちは人間のように、おいそれと居場所を変えることはできないのだ。

キャンプ場の

マナーを守ろう

ミズクからの手紙

私は森の夜警ミズクです。この森で生まれ、もう何年も夜警を勤めています。

森のはずれの湖のそばに、キャンプ場があり、毎年夏には大勢の若者がやってきます。

今年もまた、その季節がやってきました。

ところで、いつも思うことがあるのですが、近ごろのキャンパーの中には、キャンプの楽しみ方を、まるで知らない人がいるようです。

夜遅くまで、ギターやウクレレをかき鳴らし、大きな声で歌

っているグループは、いったい他のテントで眠っている仲間たちのことを、何んと思ってるのでしょうか。

自然の中での開放感からか、未成年のキャンパーが、お酒を飲んだり、タバコを吸ったりしているのを見かけます。

ひどいのは、翌朝、太陽がカンカン輝るほど高くなって、二日酔いでテントの中に寝ているキャンパーもいると、ミズナラさんが話していました。

もともと山のキャンプは、そこを足場に近くの山をハイイクするためのもので、そのためには夜は早く寝て、朝のまだ涼しい

うちに出発するのが、いわば常識みたいなものなのです。それが、いつ頃から山の中に泊るためだけのものになってしまったのか知りませんが、夏山の美しさは、東の空が白みかけて、乳色の朝もやの中に、湖面や林がうっすらと浮びあがってくる、そう、私がカッコウ君やウグイス君と勤めを変わるあの時間が一番なのです。

この夏、もしあなたにキャンプの計画がおりなら、早寝、早起きして、胸いっぱい新鮮なオゾンを含んで返ってほしいと願っています。

この夏、もしあなたにキャンプの計画がおりなら、早寝、早起きして、胸いっぱい新鮮なオゾンを含んで返ってほしいと願っています。

特別寄稿 日光讃歌

西田 玻真路

東京都・歌人

空のいろ ふかきところ

咲く花のいろ 鮮らし

山の肌青きところ

湧く雲はつねに白妙

尋め来つつ人は住みつぐ

そのかみの毛の國にして

やさしがる人の心根

展く世の いま泰平に

巻鹿を ここに洗わむ

日光よ 男体山よ

なだりたる 山の裾へは

珠きらふ みづうみの水

日光よ 千尋の滝よ

春秋のふかき樹の間は

いきものの夢のまほろば

尋め来つつ 人は住みつぐ

住みならし いのちを愛す

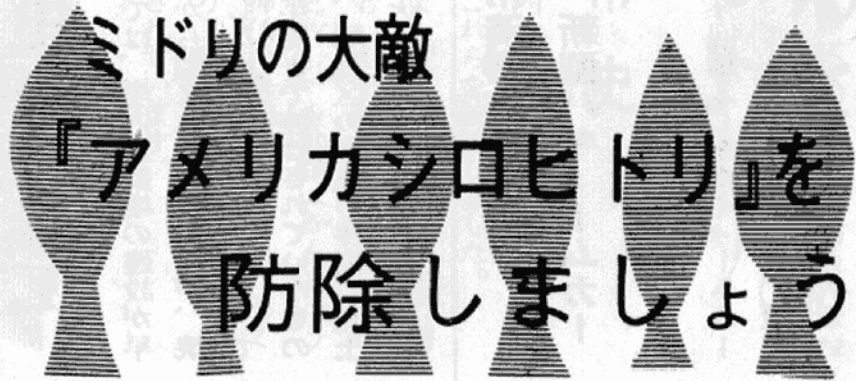
(日光に遊びて詩う)

県の自然保護条例 4月から全面施行に

急速な経済社会の進展によって、急激に失なわれつつある本県の自然を守るために、栃木県では昨年十二月に「栃木県自然保護条例」を制定公布しました。が、本年四月から指定区域内の

行為の規制や罰則条項などが全面施行されました。この条例は、国の自然公園法によって規制されている、国立公園地域などのほかに、新に県が自然保護地区や記念保護樹木を指定し、地区内の木竹の伐採や宅地の造成、動物の捕獲を規制するものです。

市域の大部分が国の自然公園法による「国立公園」に指定されている本市では、まだ県条例による自然保護地区の指定地域はありませんが、県自然保護条例の全面施行を機として、栃木県では、県民総ぐるみで自然保護に協力されるよう、強く呼びかけています。



ミドリの大敵 「アメリカシロヒトリ」を 防除しましょう

背中が黒っぽく、側面は黄色で、不規則な黒い斑紋があり全体に白い長い毛でおおわれています。幼虫は十分成長すると、木の洞やはめ板のすき間などにもぐり込んで赤褐色の蛹になります。この虫は一年に二回発生します。第一回目のは五月にでて卵をうみ、幼虫は六月初めから発生します。第二回目の幼虫は八月中旬、下旬ごろから発生し始め、九月ごろから蛹になり、そのまま冬を越します。

防除するには

この虫は、幼虫が小さい時は糸をはき巣を作り、かたまって生活します。大きくなると巣から離れてしましますから、早いうちに巣を切り取りふみつぶすか焼きすすると手軽に防除できます。

この虫には毒はありませんが、もし、取り残しがあった虫が大きくなったときは、農薬をかけてください。薬剤は農業用のDPE剤(ディプロテックス)やDDVP剤、MEP剤(スミチオン)、ダイアジノン剤、クロルピリホス剤がよくきます。それぞれ説明書をよく読んでご使用ください。